

# News Release

2009年9月8日

パイオニア株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 小谷 進  
 (コード番号 6773 東証第一部)  
 問合せ先 代表取締役専務取締役 岡安 秀喜  
 電 話 (03) 3494-1111

## 2010年3月期 中間配当についてのお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2010年3月期の中間配当を無配とすることを決議しましたので、お知らせします。

当社は、安定的な配当の維持継続を念頭に置きながら、財務状況および連結業績等を勘案して、適切な配当金額を決定することを配当政策として定め、経営の最重要課題の一つと認識しています。

当期におきましては、構造改革による固定費削減効果があるものの、連結売上高の減少や構造改革費用の計上等により、連結当期純損失は830億円となる見込みです。このため、誠に遺憾ながら、当期の中間配当は、前期に引き続き無配とさせていただきます。

当社は、現在進めている構造改革を確実に実行することにより、業績の回復に努めてまいりますので、ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

	1株当たり配当金		
	中 間	期 末	年 間
2010年3月期 (当 期)	0円	*	*
2009年3月期 (前 期)	0円	0円	0円

\*当期の期末配当金については、後日決定する予定です。

### 見通しに関する注意事項

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)継続的な新製品導入、急速な技術開発、厳しい価格競争、主観的で変化しやすい消費者の嗜好等を特徴とする、競争の激しい市場において、評価の高い製品やサービスを継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)事業に影響を与える技術進展に応じて、競争し、販売戦略を策定、成功させる能力、(6)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(7)ブランドイメージを継続的に向上させる能力、(8)他社との合弁や提携の成功、(9)事業構造改革の成功、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

以 上